

の文脈依存的応答性の変化. 第73回日本生理学会大会, 1996, 3, 福井.

- 4) 福田 正治, 小野 武年: 電気刺激後におけるラット海馬体のニューロン活動. 第19回日本神経科学大会, 1996, 7, 神戸.
- 5) 上野 栄一, 高間 静子, 塚原 節子, 福田 正治: 看護婦の勤労意欲とストレスとの関係. 第22回日本看護研究学会, 1996, 7, 広島.
- 6) 高間 静子, 湯川 倫代, 塚原 節子, 福田 正治: 看護婦の価値観の勤労意欲へ影響. 第22回日本看護研究学会, 1996, 7, 広島.
- 7) 塚原 節子, 上野 栄一, 高間 静子, 福田 正治: 看護婦の就労姿勢の勤労意欲の影響. 第22回日本看護研究学会, 1996, 7, 広島.

数 学

教 授 南 部 徳 盛
助 教 授 笹 野 一 洋

◆ 研究概要

南部徳盛:

- 1) 非線形退化型放物型方程式の研究
- 2) 非線形楕円型方程式の研究
- 3) 非線形常微分方程式の研究

笹野一洋:

- 1) 3次元多様体上の流れの位相的研究
- 2) 2次元多様体上の写像の位相的研究

◆ その他

- 1) Bandle, C., Nanbu, T., Stakgold, I.: Large-time behavior of the porous medium equation with absorption, Wave Center Reports 96-1, Center for the Mathematics of Waves, University of Delaware, 1996.

物 理 学

教 授(前) 林 光 彦
助 教 授 豊 富 誠 三
教 務 職 員 田 村 一 郎

◆ 学会報告

- 1) 田村一郎: メスバウアー効果からみた γ -Fe₂O₃超微粒子の磁性. 日本物理学会1996年秋の分科会, 1996, 10, 山口.

化 学

助 教 授 広 上 俊 一
教 務 職 員 角 田 広 子

◆ 研究概要

広上俊一, 角田広子: 4-ピリミジノン誘導体の光化学反応: デュワーピリミジノン誘導体の求核試薬との反応: 光化学に生成したデュワーピリミジノン誘導体のX線結晶解析による分子構造の決定: デュワーピリミジノン誘導体の電子状態の計算.

◆ 学会報告

- 1) 広上俊一, 角田広子: イミンデュワーピリミジノンの構造と反応性, 日本化学会第70春季年会, 1996, 3, 東京.
- 2) 篠田裕之, 広上俊一, 角田広子: 非経験的分子軌道法によるデュワーピリミジノンの計算, 日本化学会第70春季年会, 1996, 3, 東京.

薬 学 部 生 物 学

教 授 菅 野 延 彦

◆ 原 著

- 1) Hibino Y., Kamiuchi S., Kusashio E., and Sugano N.: Enhancement of DNA repair activity in rat-liver cells exposed to cisplatin. *Biochem. Mol. Biol. Int.* 38: 973-979, 1996.
- 2) Morita M., Kan Y., Sugano N., and Nishi A.: A trypsin-like serine proteinase from plasmoidal membrane of *Physarum polycephalum*. *J. Gen. Apply. Microbiol.* 42: 163-180, 1996.

◆ 学会報告

- 1) 日比野康英, 神内伸也, 大関洋光, 菅野延彦: シスプラチンによる細胞内DNA修復活性の上昇. 日本薬学会116年会, 1996, 3, 金沢.
- 2) 小前憲久, 成田弘和, 日比野康英, 菅野延彦: 有糸分裂阻害剤で誘発される小核の形態とその由来について. 日本薬学会116年会, 1996, 3, 金沢.
- 3) 日比野康英, 大関洋光, 菅野延彦: 高度反復配列湾曲DNAの転写活性化能について. 日本生化学会北陸支部第14回大会, 1996, 6, 富山.
- 4) 神内伸也, 日比野康英, 大関洋光, 菅野延彦: シスプラチン損傷DNAを認識する23 kDa相当蛋白質(P23)の諸性質. 日本薬学会北陸支部第

- 94回例会, 1996, 6, 富山.
- 5) 日比野康英, 大関洋光, 菅野延彦: 高度反復配列湾曲DNAの転写活性化能. 第69回日本生化学会・第19回日本分子生物学会合同年会, 1996, 8, 札幌.
 - 6) 神内伸也, 日比野康英, 大関洋光, 菅野延彦: シスプラチン損傷DNAを認識する23 kDa 相当蛋白質 (P23) と ATPase 活性. 第69回日本生化学会・第19回日本分子生物学会合同年会, 1996, 8, 札幌.
 - 7) 鎌木淳平, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦: 椎茸菌糸体培養基由来の多糖蛋白質画分 (LAP1) によるマウス脾細胞の細胞傷害活性の増強: 第55回日本癌学会総会, 1996, 10, 横浜.

統計・情報科学

教授 折笠秀樹

◆ 研究概要

高脂血症の薬物療法に関するランダム化比較試験の統計センターを, 受託研究として稼働しはじめた。全部で約1万2千症例を登録して, 5年間追跡する臨床研究である。

また, 糖尿病患者への自己血糖測定の意義を検証したSCCT研究は, 最終報告の段階にある。

その他, 厚生省の薬剤疫学研究班にも属し, 薬物療法の長期臨床試験に数多く関与してきた。

現存する治療法や予防法を証拠に基づいて見直すという, メタアナリシス研究もいくつか行ってきた。

本年12月には, 文部省科研費シンポジウム「医学・生物学データの統計モデル」を富山で主催した。

◆ 著書

- 1) 折笠秀樹: メタアナリシス. 「今日の疫学」青山英康編, 240-250, 医学書院, 東京, 1996.
- 2) 折笠秀樹訳: 「ニュースの統計数字を正しく読む」. Cohn V. 著, バイオスタット, 東京, 1996.

◆ 原著

- 1) 折笠秀樹, 渥美義仁, 門脇孝: 糖尿病治療研究におけるQOL評価とメタアナリシス. 内分泌・糖尿病科, 2(1): 8-15, 1996.
- 2) 酒井弘憲, 林邦彦, 折笠秀樹, 陣内紀恵, 楠正: 高血圧薬剤治療における有害事象評価へのメタアナリシスの応用. 薬剤疫学, 1(1): 39-40, 1996.

◆ 総説

- 1) 折笠秀樹: 統計数字のトリック. ファルマシア,

32(5): 531 - 533, 1996.

- 2) 折笠秀樹, 田嶋尚子: 糖尿病の臨床疫学. DITN, No.221: 2-3, 1996.
- 3) 折笠秀樹: 臨床疫学の糖尿病治療への活用. Diabetes Journal, 24(4): 141-146, 1996.

◆ 学会報告

- 1) Origasa H.: Literature search and compiling the stroke clinical trials in Japan. Cochrane Stroke Review Group Annual Meeting. 1996, 3, Edinburgh:Scotland.
- 2) Kusunoki T., Honma A., Sawada T., Ishino N., and the SKETCH Study Group: Reliability study in assessing mental condition of patients in chronic stage after stroke. Fourth International Nice/Springfield Symposium on Advances in Alzheimer Therapy. 1996, 4, Nice: France. (折笠はSKETCH Study Group Membersの一人)
- 3) 折笠秀樹: 中間解析を実施するにあたって考えること (シンポジウム「ランダム化臨床試験をめぐる諸問題」). 日本行動計量学会第24回大会, 1996, 9, 幕張 (発表論文抄録集, pp.128-129).
- 4) Origasa H., Atsumi Y., Kadowaki T., for the SCCT Study Group: Quality of life questionnaire development for the management of diabetic patients and its reliability study findings. The 3rd International Conference for Quality of Life Research. 1996, 10, Manila: Phillipine.
- 5) 折笠秀樹: 癌のClinical Trial に求められる統計学のABC. 第34回日本癌治療学会, 教育講演, 1996, 11, 東京. (日本癌治療学会誌, 31: p.484; 特別プログラム抄録集: pp.39-44).
- 6) 折笠秀樹, 山本祐香理, 佐藤均, 林隆一, 井上博: 高血圧患者における降圧薬の併用と合併症に関する処方実態調査. 第17回日本臨床薬理学会, 1996, 11, 東京 (プログラム要旨集: p.115).
- 7) 折笠秀樹, 酒井弘憲, 渥美義仁, 田嶋尚子: NIDDM患者にたいする α -glucosidase inhibitors の総合評価—わが国でのプラシーボ対照ランダム化比較試験を用いたメタアナリシス—. 第17回日本臨床薬理学会, 1996, 11, 東京 (プログラム要旨集: p.104).
- 8) 折笠秀樹, 北野淳子, 多田春江: 国内の脳卒中ランダム化比較試験105報の試験デザイン上の特徴. 第17回日本臨床薬理学会, 1996, 11, 東京 (プログラム要旨集: p.119).
- 9) 山本祐香理, 折笠秀樹, 佐藤均, 林隆一, 井上博: 院内データを用いた降圧薬の使用パターンと合併